

町村週報

（町村の購読料は会費）
（の中に含まれております）**3328号**

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955

発行人 横田真二：定価1部40円・年間1,500円（税、送料含む） 振替口座00110-8-47697

<https://www.zck.or.jp/>

夜空を彩る黄金の大輪（香川県小豆島町）

も く じ

随情情情 フォーラム 活
想報報報 動

会長代行に岩田氏（千葉県町村会長・東庄町長）、鈴木氏（愛知県町村会長・大口町長）、池田氏（島根県町村会長・隠岐の島町長）を選任……住民が活躍し、自ら進めるまちづくり！山梨県身延町……新任都道府県町村会長の略歴……町村ご当地キャラじまん……あるものに気づき、あるものを磨き、あるものと生きる……熊本県美里町長 上田 泰弘……(11) (9)(8)(7)(3)(2)

写真キャプション

小豆島まつりは、町をあげて開催される地元色豊かなお祭りで、こどもから大人まで楽しめるさまざまなイベントが催される。フィナーレを飾る花火は、大10号玉を含む約1500発が沖合から打ち上げられ、瀬戸内海に美しく映える。頭上に降り注ぐような迫力と、体に響くほどの音が観客を魅了する。

コラム

人間関係が希薄で「お客様」化した社会へのオルタナティブ

九州大学大学院法学研究院教授

嶋田 暁文

知らない人のピアノの音はうるさく感じるが、知っている人のピアノの音だと「今日も元気にしているのだな」とうれしくなるといふ。「近所のごもたちの遊んでいる声を好ましく思うか、うるさいと感じるかは、その子たちと親しいかどうか次第である」というのも同じ理由であろう。要するに、人間関係が希薄だと、何をしても苦情が出やすく、トラブルになりがちなのである。その結果、社会（特に役所）に生じるのは、「もしも何かあったら困るから」という理由に基づく、新たなチャレンジに対する防衛的な対応であり、「何もしない」という不作為である。

苦情増加の原因には、人々の「お客様」化というのもある。市場サービスを購入することばかりに慣れてしまうと、何事に対しても「してもらって当然」になり、感謝の心が失われる。権利意識ばかりで当事者意識のない人々は、一方的な要求と苦情、そして相手への責任追及のみに向かってしまう。その結果生じるのは、「こういうルールになっているので」という理由に基づく防衛的な対応であり、「最低限のことしかしない」という消極的な行動である。

人間関係が希薄で、人々が「お客様」化した社会は、互いの心を冷やしあつた社会であり、窮屈で生きづらい社会ではないだろうか。そうした社会に生きる人々の心の空白は、いかにして埋められるのか。この点、一つには、刺激的な市場サービスで埋めるという方法がある。東京をはじめとする都会は、一方で人々の心の空白を生みだしつつ、他方でそうした方法で埋めるというマッチポンプ的なやり方で人口を吸引してきた。

しかし、心の空白を埋める方法はほかにもある。人間関係が濃密で、「自分たちの住んでいる場所は自分たちでどうにかしなければ」という当事者意識を持つ者が多い農山漁村との関わりを持つ、という方法である。関係人口が増えている背景には、こちらの方法への人々の気づきがあるように思われる。

人間関係が濃密で、人々が当事者意識を持ちやすいという社会特性は、自由で豊かな発想を持つ外部人材と結びつくことで、地域づくりに有効に作用しうる。個性的で魅力的な地域づくりができていくところに島根県海士町をはじめとする小規模町村が多いのは、そのことを示唆しているのではないだろうか。

全国町村会

会長代行に岩田氏

（千葉県町村会長
東 庄 町 長）

鈴木氏

（愛知県町村会長
大 口 町 長）

池田氏

（島根県町村会長
隠岐の島町長）

を選任

全国町村会は7月24日に開催した理事会において、任期満了に伴う副会長及び監事の選任を行い、副会長11名及び監事4名を選任した。副会長は「全国町村会の会長、副会長及び監事の選任に関する規程」により、全国9地区から推薦があった候補者を選任。監事は東部、中部、西部の3地区から推薦された3名及び会長が指名する外部監事1名を選任した。任期は令和7年7月31日から2年間。理事会では、選任された新任副会長代表の古口達也栃木県町村会長と退任副会長代表の矢田富郎石川県町長会長がそれぞれ挨拶を述べた。

理事会終了後には正副会長会が開催され、会長代行に岩田利雄千葉県町村会長、鈴木雅博愛知県町村会長、池田高世偉島根県町村会長が選任された。



▲新任副会長を代表して挨拶する古口栃木県町村会長



▲退任する副会長を代表して挨拶する矢田石川県町長会長

新任副会長・監事名簿

◆副会長（会長代行）

千葉県町村会長 岩田 利雄

（千葉県香取郡東庄町長）

愛知県町村会長 鈴木 雅博

（愛知県丹羽郡大口町長）

島根県町村会長 池田高世偉

（島根県隠岐郡隠岐の島町長）

◆副会長

山形県町村会長 阿部 誠

（山形県東田川郡三川町長）

福島県町村会長 星 學

（福島県南会津郡下郷町長）

栃木県町村会長 古口 達也

（栃木県芳賀郡茂木町長）

新潟県町村会長 品田 宏夫

（新潟県刈羽郡刈羽村長）

奈良県町村会長 森川 裕一

（奈良県高市郡明日香村長）

高知県町村会長 上村 誠

（高知県安芸郡北川村長）

佐賀県町村会長 田島 健一

（佐賀県杵島郡白石町長）

鹿児島県町村会長 高岡 秀規

（鹿児島県大島郡徳之島町長）

◆監事

青森県町村会長 濱館 豊光

（青森県北津軽郡中泊町長）

京都府町村会長 吉本 秀樹

（京都府与謝郡伊根町長）

宮崎県町村会長 佐藤 貢

（宮崎県西臼杵郡日之影町長）

弁護士 小澤 徹夫

フォーラム



▲旧千円札に描かれた本栖湖の「逆さ富士」 アニメ『ゆるキャン△』はこの場所から始まりました

山梨県 身延町

住民が活躍し、 自ら進めるまちづくり

1. 身延町の概要

身延町は、山梨県の南部に位置し、町の中央を南北に流れる日本三大急流のひとつ富士川を中心に周囲を急峻な山々が連なり、富士川とその支流沿いに農地と集落が点在する中山間地です。総面積301.98km²のうち森林が町の約8割を占め、人口は9,470人（令和7年7月1日現在）。住民基本台帳）豊かな自然と歴史・文化を背景に、多彩な魅力・資源にあふれた観光の町でもあります。甲府市と静岡市のちょうど中間に位置し、主要な交通手段であるJR身延線と令和3年に東名高速道路と中央自動車道を南北に連結する中部横断自動車道（南部区間）が全線

開通してからは、首都圏からのアクセスも格段に向上し、来訪者も増えています。



▲日本三大急流富士川を中心に山々に囲まれた身延町



フォーラム



▲日蓮宗総本山の身延山久遠寺

身延山久遠寺は、日蓮宗総本山として750年にわたり人々の信仰を集めてきた聖地であります。連綿と紡いできた歴史と文化が色濃く残り、奥深い山峡に築かれた荘厳な仏閣の規模感に驚かれる方も多く、樹齢400年と云われるしだれ桜をはじめとした四季折々の風情が楽しめるパワースポットとして、通年観光客が訪れております。

戦国武将武田信玄公が、兵士たちの戦の傷を癒したとされる下部温泉郷は、国民保養温泉地に指定されるなど湯治に定評のある名湯で、美容効果もあるアルカリ単純泉は根強い人気を誇っています。また甲斐の国の経済を

支えた金山遺跡を今に伝える博物館もあり、レトロな雰囲気味わえる温泉郷です。

富士山世界文化遺産の構成資産であり、誰もが知る富士五湖のひとつでありながら、手つかずの自然が色濃く残る本栖湖は、屈指の透明度を誇り、旧千円札に描かれた「逆さ富士」がみられる絶景のビュースポットです。キャンプ、ウォータースポーツのアクティビティに加えて、アニメ『ゆるキャン△』の舞台としてさらに多くの人が訪れるようになりました。

2. 特色あるまちづくり

平成16年9月に平成の大合併により現在の身延町となり、直後の平成17年に実施された国勢調査において16,334人だった人口は、令和2年には10,663人と大幅に減少し、少子高齢化と人口減少が進行するなか、平成27年に「身延町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、未来へとつなげる具体的な取組を、特色あるさまざまなアクションにより推進しております。

町では、将来を担う子どもたちを育むための施策を積極的に行っています。毎年、小中高生と町長との座談会を開催し、こどもたちのひらめきや



▲子どもの夢を叶えるプロジェクト「しだれ桜の里」

発想力から、町政に関するさまざまな提案をいただく「子どもの『夢』を叶えるプロジェクト」を進めており、先ずは高校生の「町全体を『しだれ桜の里』にしたい」との発想から、身延町の観光を代表する「しだれ桜」で町の魅力アップを図るべく、富士川クラフトパークに5千本以上植樹し、自治会への配布を含めて年々華やかさを増してきました。また、町民が親しみをもてる町の歌の制作、マスコットキャラクター「みのワン」の誕生、さらに中学校生徒会を「身延町観光大使」に任命

▲子どもの夢を叶えるプロジェクト
町公式マスコットキャラクター「みのワン」

して中学生が観光PRに携わるなど、こどもたちの発想の実現や町政への参画により郷土愛を醸成しております。

次に、「子育てしやすいまちナンバー1」をめざして、早くから子育て支援に力を入れてきました。保育所利用料、給食費、修学旅行費、補助教材、校外学習費、各種検定料等、乳幼児期から学齢期にかかるあらゆる負担を無償化するとともに、出産、入園、入学といったそれぞれのステージアップの際にも祝金等を支給しております。さらに18歳まで医療機関での診療費自己負担額を全額助成するなど、保護者の負担軽減により安心して子育てできる環境づくりに取り組んでおります。

フォーラム

3. あけぼの大豆×6次産業化事業

町の活性化事業のひとつとして、大きくて甘みの強い特性をもつ「あけぼの大豆」に着目し、『身延町特産「あけぼの大豆」でまちおこし事業』に取り組んでおります。

あけぼの大豆の発祥の地である曙地区は、傾斜地が多く礫交じりのおよそ農業に適した土地とはいえない厳しい地域ですが、水はけがよい土壌と、昼夜の寒暖差があり霧が多く発生する気象条件等、良質な大豆が育つ風土でもありました。しかしながら不利な耕作条件と耕作者の減少から、生産・流通量が少なく「幻の大豆」と云われてお



▲あけぼの大豆の枝豆

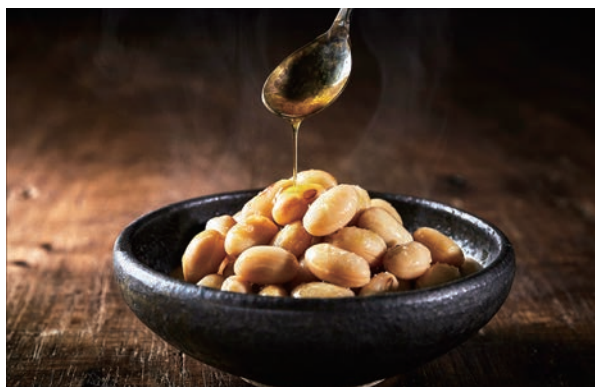


▲あけぼの大豆

りました。

その特徴は、粒の大きさと甘みの強さは通常の大豆の約1・5倍で、枝豆が10月、大豆が12月に収穫される極晩成品種です。穀物類である大豆は醤油、味噌、豆腐等私たちの食生活に欠かせない食材ですが、消費者に美味しさがダイレクトに伝わる枝豆に対して、あけぼの大豆の特徴、美味しさを伝えるためには加工して届ける必要があります。生産×加工×販売を掛け合わせた6次産業化事業により、品質の保持・継承、生産安定、販路拡大を図り、地域に根ざした雇用の創出、あけぼの大豆のブランド向上、ひいては生産者の所得向上をめざすこととしました。

事業の効果は順調に現れ、事業開始



▲あけぼの大豆は6次産業化によりさまざまな加工品に

から現在までの10年間で、作付面積は約1・5倍に、枝豆の販売単価はほぼ2倍に増加しました。皇位継承の重要儀式「大嘗祭」へ供納、山梨県の農林産物として唯一の地理的表示（GI）制度の登録により、そのブランドが認知され山梨を代表する農産物のひとつとなりました。山梨県内だけでなく近隣都県からも買い求める消費者が年々増加しており、次第に知名度とブランド力の高さは広まりつつあります。大豆の栽培を目的とした移住者の増加や、耕作放棄地の解消等、さまざまな効果がありますが、何より生産者自身が「あけぼの大豆」の価値を再認識できたことが最大の収

獲です。

6次産業化によるそれぞれの業種において、町民の主體的な営みのうえに行政がサポートを加えることで、今後とも農業振興はもちろん、経済効果、地域づくりに大きく貢献することが期待されます。

4. 「五条ヶ丘活性化推進協議会」地域住民による新たな取組

アニメ『ゆるキャン△』において身延町が取り上げられたことは、地域の活性化及び観光振興に大きく貢献しています。『ゆるキャン△』を契機として身延町を知った方も少なくなく、多くの観光客が町を訪れるようになり、地域全体に新たな活気が生まれています。

本栖湖畔でのキャンプから始まるこの作品は、冒頭の旧千円札に描かれた本栖湖の「逆さ富士」をはじめとする作中に登場する実在のスポットは、現実にある自然景色等を、写實的・美的に表現されており、いわゆる「聖地巡礼」の対象としてアニメファンの間で広く知られるようになり、身延町が有する自然の美しさや文化的背景が改めて評価されています。また日本全国のみならずインバウンドも増え続けて

フォーラム

おり、今後もこの流れを維持・発展させ、地域振興へとつなげていくことが期待されています。

平成30年に小中学校の学校再編成により、町内の小中学校合わせて11校から4校へ統合されました。『ゆるキャン△』の舞台となった旧下部中学校（作画では本栖高校）も平成28年に廃校となり、この地域には文教施設が全てなくなったことで、深刻な活力低下が懸念される状況となりました。

こうしたなか平成30年4月に五条ヶ丘活性化推進協議会（以下、協議会）が設立されました。30〜40歳代の地域



▲協議会が主催する校庭キャンプ これまで70回以上開催しました



▲校庭キャンプでは毎回趣向を凝らしたイベント等を開催

の卒業生や住民等約20名が中心となり、地域再生に向けた活動を展開しておりますが、ここで着目したのがアニメ『ゆるキャン△』です。作品の舞台となったこの地域にファンを呼び込むと、廃校となった学校の校庭を活用した「校庭キャンプ」のほか、地域住民を巻き込んだ多種多様な取組を行っております。「校庭キャンプ」は、これまでに70回以上に及び、その都度、防災、地域コンテツとのタイアップなど、さまざまなテーマや新たな体験を提供するなど趣向を凝らしたイベントとなっており、さらにアニメ『ゆるキャン△』に関連した誕生日会や文化



▲来訪者へのおもてなし。
地域を散策しやすいように案内看板を設置。

祭等も開催し、町内外から関係者を巻き込んだ多彩な活動となっております。

地域住民の協力も欠かせません。地域の魅力をより多くの人々に伝えるため、案内看板の設置や手作り地図の配布に加え、来訪者に対して住民から積極的な声かけをするなど、増加する来訪者に向けて地域住民が「おもてなしの心」で受け入れております。これらは老若男女問わず地域一体で取り組み、それが住民の自信と誇りの醸成にもつながっています。

こうした活動が評価され、令和4年度過疎地域持続的発展優良事例表彰を受賞されました。



▲みのぶ『ゆるキャン△』ふるさとまつりには2日間で5,000人を超える来場者

5. 団体間連携への波及

地域社会が直面する課題には、少子高齢化、過疎化、経済の停滞等、複雑かつ多岐にわたるものがあります。これらの課題に対して、自治体、企業、NPO等、異なる立場の団体が連携し、それぞれの強みを活かして取り組むことが求められます。各団体が保有するリソースや専門性を相互に補完し合うことで、単独では実現が難しい成果を生み出すことができます。

令和5年度に当協議会を含む町内の複数の団体が構成する「身延ニューツーリズム協議会」が設立されました。

フォーラム

【町村長としての当選回数】3回



昭和34年11月28日生

白石 祐治

鳥取県町村会長
日野郡江府町長

新任都道府県町村会長の略歴

鳥取県町村会は令和7年6月30日の総会で次の通り会長を選出した。

（7月1日就任）

主催事業の「『ゆるキャン△』ふるさとまつり」では、校庭キャンプ、声優によるトークショーを開催したところ、2回目となる今年度は、2日間で5,000人を超える来場者を集め、地元産業の紹介や観光スポット等身延町の魅力を発信する機会となり、来場者と地域住民ともに楽しめるイベントとなりました。

このように住民主体によるイベントや取組、団体間の連携によるプロジェクトは、『ゆるキャン△』以外においても徐々に増えてきております。

こうした動きは、行政主導ではなく

町民が主体となって運営を担っている点が最も重要なポイントです。地域活動を通じて地域リーダーの育成や発掘が進められ、地域を担う人材の確保や人の流れの創出、経済の活性化等、持続可能なまちづくりに大きく寄与しており、地域再生に向けた先進的なモデルが構築されているともいえます。もちろん行政の理解と関わりは必要で、依存しすぎないパートナーとして、ともに連携し官民協働のまちづくりを進めていきます。

山梨県身延町

企画政策課 高野 修

【町村長に就任するまでの経歴】▽

昭和57年4月鳥取県庁職員（企業立地課長、東京本部副本部長、環境立地推進課長等を歴任）▽平成25年4月江府町副町長▽平成28年8月江府町長

【町村会関係の経歴】▽平成31年鳥取県町村会副会長

【主な業績】▽地域医療人材育成拠点施設整備▽移住定住促進住宅整備▽交流拠点施設整備▽サテライトオフィス整備▽人権文化センター整備▽義務教育学校開校▽保育料無償化、保育園・義務教育学校の給食費無償化▽奥大山自然塾の開校・運営▽ふるさと教育の推進

【趣味】ウォーキング、音楽

【家族】妻



▲五条ヶ丘活性化推進協議会のメンバー



▲本栖高校では文化祭、誕生会等、参加者が楽しめるさまざまなイベントを開催しております

車両共済(保険)のご案内

この車両共済(保険)は、町村生協の自動車共済で補償する対人賠償、対物賠償、限定搭乗者傷害等に加え「ご自身のおクルマの補償(車両保険)」を追加する制度です。お車が衝突した場合や台風・いたすら・盗難など偶然な事故で損害を被ったときに、共済(保険)金をお支払いします。

●お見積りのご請求・お申込み・お問い合わせなどは、下記までご連絡ください●

株式会社 千里 (取扱代理店)

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館内

●ホームページアドレス <https://www.chisato-ag.co.jp/>

お電話の際には、車検証をお手元にご用意ください

(受付時間：祝日、年末年始を除く月～金 午前9時30分～午後5時)

TEL 0120-731-087 FAX 03-3519-7325

●「車両共済(保険)制度」は、全国町村職員生活協同組合と損害保険ジャパン株式会社とが団体契約を締結し、実施しているものです。

●団体契約としてご契約いただけるのは、保険契約者および被保険者が損保ジャパンの定める条件を満たす場合のみとなります。

このご案内は概要を説明したものです。詳細については、取扱代理店(千里)までお問い合わせください。

〈車両保険引受保険会社〉損害保険ジャパン株式会社

[SJ23-05507 (2023.8.1作成)]

町村 かわら版

ハヒグマ危機クライシス▽クマ追跡、
連携容易に 北海道・標津の企業がシ
ステム ハンターら位置を共有

（北海道標津町）

【標津】農作業支援システム開発、販売のエソウイン（北海道・根室管内標津町）が、市街地や山間部に出たクマを捕獲するためハンターなど関係者が互いの位置情報を共有できるシステム「クマハブ」を商品化した。クマ追跡では、ハンターや自治体、警察が異なる無線システムを使うことが多く、刻々と状況が変わる中、リアルタイムの連携が難しいのが課題。クマハブが普及し、現状を変える切り札になるか。

クマハブは同社の農作業管理システム「レポサク」を応用した。レポサクは衛星利用測位システム（GPS）を搭載した手のひらほどの端末で、関係者それぞれが身に着けると、各自の位置を1秒ごとに記録し、情報を発信。スマートフォンやタブレット上の地図にリアルタイムで移動状況を表示できるのが特長だ。

クマハブの開発は1年ほど前、標津町が

同社にクマ捕獲に向けたシステムができな
いか相談したのがきっかけ。10回ほどクマ
捕獲時に実証試験を行ったところ、現場の
職員やハンターから「円滑に情報共有でき
た」との声が届き、今月から販売・レンタ
ルを始めた。

住宅や道路が集まる市街地では、クマハ
の対処が特に難しい。クマハブでは、最初
の出没位置を地図上で共有。追跡中の関係
者同士が別ルートで近づく際の誤射やクマ
の取り逃がしを減らすことが期待できる。
同社の大野宏社長は「クマ捕獲時の情報共
有の壁を緩和することに貢献できれば」と
話す。捕獲までの移動データを見返すこと
も可能で、若手ハンターの教材としても使
える。

同社は、クマ対策を担う自治体を主な顧
客と想定。クマハブはレンタルの場合、レ
ポサクとタブレット各1台やシステム利用
料を含めた「基本セット」が月額1万円程
度。レポサクの台数が増えれば、レンタル
料も上がる。問い合わせは同社、電話01
53・85・2800へ。（森朱里）

（北海道新聞・2025年7月22日）

「地域に開かれた学校に」 群馬・長野
原町に2026年春開校の英語教育校
地元児童向け格安英語塾実施の考え

（群馬県長野原町）

来春に群馬県長野原町で開校予定の英
語教育を重視する株式会社立小学校
「LCAきたかる森のインター初等部」の
地元説明会が26日、同町の交流所「オー

ワテラス」で開かれた。住民や入学希望の
保護者ら40人が参加し、萩原睦男町長と山
口紀生学園長の対談に耳を傾けた。学校側
は放課後に地元小学生向けの格安の英語塾
を開く考えを示し、「地域に開かれた学校
を目指す」と強調した。

同校は学校生活の大半を英語で過ごす独
自の教育を打ち出す。担任は外国人教員が
務め、1クラス15人を3人の教員で指導す
る「極少人数学級」とする予定。町は昨年
、国の教育特区に認定され、株式会社立の学
校設置が許可されている。

山口学園長は「習った英語を練習し、使
うことが大切。子どもの個性を伸ばし、豊
かな自然や町の人から多くのことを学ばせ
たい」と話し、体験活動が得意で子どもが
好きな教員を集めたい考えを説明した。

萩原町長は「英語ができる让世界が広が
る。長野原を英語のまちとし、地域活性化
や子どもの生きる力を伸ばすきっかけにで
きれば」と期待を示した。校舎とする旧北
軽井沢小の改修を9月に始め、来春の開校
に支障がないようにするとした。

長野県御代田町から参加した40代女性は
「英語教育や地域での体験を重視したプロ
グラムに興味がある。ぜひ入学させたい」
と熱心にメモしていた。

（上毛新聞・2025年7月27日）

徳島県那賀町、スキンケア会社と協定
木頭ゆずの生産力強化へ

（徳島県那賀町）

徳島県那賀町は、特産の木頭ゆずを使っ

たスキンケア用品を製造・販売する株式
会社シロ（東京都）と、木頭ゆずの生産
力強化を目的とした包括連携協定を締結
した。

協定に基づき、シロは今後5年間、企業
版ふるさと納税として毎年200万円を町
に寄付。個人からのふるさと納税を促すた
め、スキンケア用品を返礼品として供給す
る。町は寄付金を活用し、生産面積の拡大
や新規就農支援などを進める。

町地域交流センターで22日に締結式が
あり、橋本浩志町長と福永敬弘代表取締役
社長が協定書に署名した。町長は「木
頭ゆずは町の主要産物の一つ。その生産
拡大にご協力いただけることは大変あり
がたい」と謝辞を述べ、福永社長は「化
粧水に仕上げて香り豊かで、多くのお客
さまに支持されている。生産者が潤い、
木頭ゆずが永続的に栽培される仕組
みと一緒に上げていきたい」と話
した。

（徳島新聞・2025年7月27日）

 本コーナーの記事は施策立案に
も役立つ47行政ジャーナルの
許諾を受けて掲載しています

<https://47gyosei.jp/>



町村

ご当地キャラじまん

Vol.172

特産品だけじゃない！

文化・歴史を身にまとして観光大使！！

ご当地自慢のおいしいものや伝統行事を身にまとい、
体を張ってPRしているご当地キャラたちを紹介するコーナーです。
今回は、中ブロック（北信・東海・近畿）からピックアップ。

中ブロック

「鈴が沢つり」の妖精。2月10日生まれ。はすかしがり屋さんとおとなしい女の子。「ひまわり」と「菜の花」が大好き。かくれんぼは得意だが、運動はちよつと苦手。好物は「五平餅」「とうもろこし」。「ドリアン」は嫌い。



阿南町健康推進キャラクター

ふみ子ちゃん

長野県阿南町

阿南町の町制60周年記念事業の一環として、健康増進運動「ふつとふつと体操」が作られた際に、体操ソングにあわせて公募して誕生した「ふみ子ちゃん」。デザインしたのは、町内の中学生でした。阿南町の伝統野菜鈴が沢つりをイメージした黄緑色で、阿南町の形と「ふつとふつと体操」にちなんで「足」がモチーフとなっています。「ひまわり」の髪飾りがチャームポイントなのだとか。2018年2月に開催された完成（誕生）記念イベントで着ぐるみがお披露目されたからは、町内の保育園や小学校の運動会、町内の各種イベントに出張して、阿南町の観光名所や特産品を盛り込んだ歌詞の「ふつとふつと体操」をPRしている「ふみ子ちゃん」。阿南町の老若男女に愛されているキャラクターです。

根羽村マスコットキャラクター

ねばたん・スギリン

長野県根羽村

2013年、当時の根羽村の小学6年生が学校の授業で「ねばたん」のデザインを考案したことをきっかけに、村のキャラクターを制作することになりました。こどもたちが引き続きデザインを担当した「ねばたん」と、村民への公募をもとに決定した「スギリン」とが2015年にマスコットキャラクターとして誕生しました。「ねばたん」は、根羽村に生息する「わん」と鳴く「ネバタゴガエル」と元気なお年寄りがモチーフで、根羽村で女性を中心に冬場によく着られる「ねこ」を着用し、胸には村花「岩ツツジ」があしらわれています。「スギリン」は、樹齢1,800年、樹高41m、幹回り14mの長野県下一の巨木で国天然記念物の「月瀬の大杉」がモチーフで、胸には、「月瀬」から「月」があしらわれています。ふたりとも、村のイベント等で今も活躍しています。



ねばたん（写真右）：「ネバタゴガエル」の生まれかわり（らしい）。スギリン（写真左）：「月瀬の大杉」の妖精。ふたりとも、性別・年齢などは知られていない。

木祖村イメージキャラクター

源流の源気くん

長野県木祖村



8月30日生まれ。健康で、元気で活発な男の子。元気いっぱい駆け回ることが得意。「御嶽はくさい」、きれいな水や空気が大好き。趣味はカヌーやスキー、キャンプなどのアウトドアスポーツ。好きな言葉は「水の環・人の和」。

2008年8月に木祖村で開催された「第9回全国源流シンポジウム」の際に誕生した「源流の源気くん」。木曾川の源流がモチーフとなっていて、木曾川源流の清流をイメージしたマントや新芽をイメージした頭部がチャームポイントとなっています。当初イラストのみでしたが、2010年に着ぐるみがお披露目となり、村内のイベントや木曾川下流域の東海地方で開催される物産展等で、木祖村の顔として活躍しています。村特産品の「御嶽はくさい」のほか、大型キャンプ場「やぶはら高原こだまの森」や「やぶはら高原スキー場」等のレジャー施設のPR等で活躍している「源流の源気くん」。木曾川の水が綺麗なまま、永遠に流れ続けることを夢見ながら、これからも木祖村の魅力を発信していきます。

次回は、西ブロック（中国・四国・九州・沖縄）からご紹介します

さまざまな「集いの場」を 演出いたします

広さと設備が多様な大ホールと、
3つの会議室がございます。
会議・研修、パーティーなどに
幅広くご利用いただけます。



和・洋食のレストランも お気軽にご利用ください

全国町村会館には、
会議室・宴会場のほかに、
ふたつのレストランもございます。
お気軽にお立ち寄りください。



レストラン「ペルラン」



和食処「さいかち」

客室のご案内

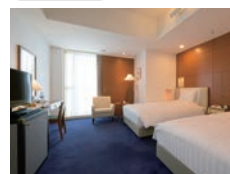
SINGLE ROOM

シングル
119室

DOUBLE ROOM

ダブル
12室

TWIN ROOM

ツイン
18室

和室もございますのでお問い合わせください。

※市町村職員共済組合等の宿泊施設利用助成券がご利用いただけます。



ご予約・お問い合わせ

全国町村会館 (代表)

TEL.03(3581)0471

FAX.03(3581)0220

〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号 WebサイトURL <https://www.zck.or.jp/kaikan/>

会議・宴会予約

TEL.03(3581)6767

FAX.03(3581)6324

●全国町村会館 へのアクセス

- ・有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」3番出口徒歩1分
- ・丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」徒歩8分
- ・タクシー東京駅から約7分
- ・東京モノレール「羽田空港」より「浜松町駅」経由「有楽町線」乗り換え、東京メトロ有楽町線「永田町駅」下車
- ・京成特急スカイライナー「成田空港」より「青砥駅」経由「押上駅」乗り換え、東京メトロ半蔵門線「永田町駅」下車



随 想

私たちは日々、当たり前前の風景の中で暮らしていますが、その日常の中にこそ、実はかけがえのない価値「お宝」が潜んでいることがあります。特に自分が生まれ育った町や村や地域は、あまりに身近すぎてその魅力に気づきにくいものです。

さて、私が住む美里町は、熊本県のほぼ中央に位置し、熊本市内から南東へ約26km、車で約40分の距離にある自然豊かな地域です。地勢は山



あるものに気づき、 あるものを磨き、 あるものと生きる

熊本県美里町長 上田 泰弘

けて架けられた石橋が数多く点在しており、なかでも緑川上流に架かる霊台橋は、国の重要文化財に指定されています。さらに、日本一の段数を誇る石段（3、333段）は多くの健脚が挑戦し、訪れる人々を楽しませています。その他にも、緑川ダムやその周辺に広がる豊かな自然、ハート型の影が見える二俣橋、

廃線となった熊延鉄道遺構の八角トンネル、棚田や昔ながらの田舎の風景等、数多くの地域資源があり

美里町を訪れる方々（交流人口）は飛躍的に増加。さらに、そのお宝を磨き上げ付加価値をつける取組を進め、点在する観光スポットをつなぐ拠点として「道の駅美里 佐俣の湯」を整備しました。

その後も、ダム湖や周辺の自然を活かしたアドベンチャー施設を整備し、交流人口の拡大に努めてきました。交流人口が増え、新たなビジネスチャンスも生まれ、古民家を改修したお洒落なイタリアンレスト

地や丘陵部が多く、総面積144km²の約4分の3を森林が占める典型的な中山間地域です。平成16年に砥用町と中央町が合併した当時、人口は約1万3,000人弱でしたが、20

年後の現在は約8,300人となり、高齢化率も51%に達するなど、急速な人口減少と少子高齢化が進行しています。

そんな美里町が誇る「お宝」をご紹介します。まずは石橋群。町内には江戸時代から大正初期にか

ます。

私が町長に就任して今年で13年目となります。就任当初は美里町のPR予算もわずか、町の魅力発信はほとんど行われていませんでした。私自身を含め、住民は日常の環境を「当たり前」として過ごしてきたため、その価値に十分気づいていなかったのだと思います。しかし幸いなことに、早い段階でその価値に気づき、町の宝を積極的にPRするとに力を入れてきました。その結果、

ランは、予約なしでは入れない人気店となっています。なかでも特にPRが成功したのが、八角トンネルと二俣橋です。週末には鉄道ファンやカップル、家族連れで賑わい、どちらもインスタ映えスポットとして有名になりました。

さらに特筆すべきは、里山の風景そのものを一つの宝ととらえ、里山や古い集落を歩く「フットパス」の成功です。これは町内の有志の方々が始めた取組ですが、現在では美里

町は「フットパスの聖地」と呼ばれるまでになり、県内外、さらには九州各地にも広がりを見せています。

普段の生活の中では、石橋もダムも石段も、そして里山の風景も「当たり前」の存在です。しかし、それらの価値に気づき、素材を磨き、いかに人を呼ぶ仕掛けにするかによって、町の認知度向上と交流人口の増加につながり、さらに町外から訪れた方々が町内でお金を使う「外貨獲得」にもつながると確信しています。

令和6年4月には、子育て施策にも力を入れ、子育てしやすい環境を整えるため「子ども応援課」を新設しました。美里町は今、少しずつ次のステージへと歩を進めています。これからの施策キーワードは「静」から「動」へ。交流人口の増加に加え、定住人口の増加をめざして、上水道事業（インフラ整備）や中央北地区の宅地開発等、町の将来を見据えた施策を積極的に展開してまいります。

これからも「あるものに気づき、あるものを磨き、あるものと生きる」ことを大切に、地域の未来を見据えた取組を進めていきたいと考えています。

宝くじ
公式サイト

すぐ買える 当たりがわかる クイックワン

★quickOne
クイックワン



宝くじの収益金は
私たちの街の公共事業等に
役立てられています。



お問い合わせ先

宝くじコールセンター

TEL:0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料)

TEL:011-330-0777 (有料)

一般財団法人 全国市町村振興協会